



白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

ブラジル研修員が小谷村池原地すべり対策工事を視察

5月23日（金）、JICA（ジャICA：独立行政法人国際協力機構）の国別研修「総合防災」コースの一環で、ブラジルの高官や地質学者ら7名が小谷村池原の地すべり対策工事の現場を視察しました。

地すべり観測や警報メールなど、現場の監視体制について視察したいとのことで、地質学者からは地質構造や地すべり機構に関する質問が多く寄せられました。

ポルトガル語の通訳を介しての説明は骨の折れるものでしたが、図面一枚あれば心通じるものがあり、緊張感の中にも楽しいひとときを過ごすことができました。

なお、一行は23日間の滞在予定で日本を訪れており、この後、生坂村で行われた住民主導型警戒避難体制の取り組みを研修し帰京しました。



小谷村池原での現場視察

土砂災害危険箇所 合同パトロール

6月の土砂災害防止月間に合わせ、土砂災害危険箇所の合同パトロールを実施しました。土砂災害危険箇所の情報共有と緊急時の迅速な対応に役立てるため、また対策工法について専門家のアドバイスをいただくため、毎年実施しているものです。

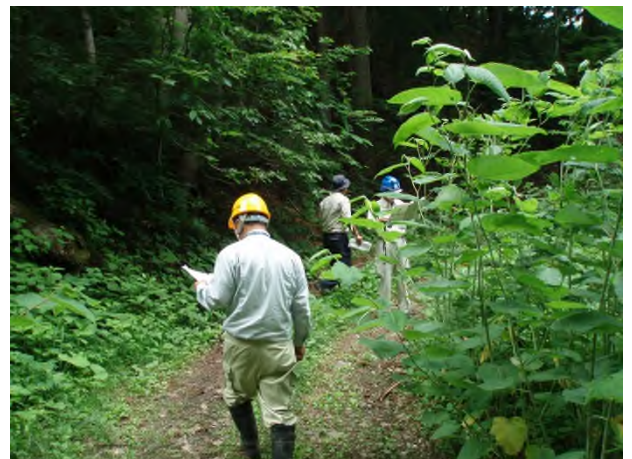
◆6月16日（月）

長野県砂防ボランティア協会の専門家の皆さんと管内の土石流や地すべりの危険箇所を4箇所（下里瀬[雪崩]、清水山[地すべり]、長見山沢[砂防]、長見山沢北[砂防]）パトロールしました。

ボランティアの皆さんから施設配置、緊急時の対応に対して適切なアドバイスや、事業計画を立案する上での貴重なご意見をいただきました。



小谷村 清水山（地すべり）



白馬村 長見山沢（砂防）

◆ 6月18日（水）

警察・消防など関係行政機関から 23 名が参加し、白馬村と小谷村の危険箇所 8 箇所のパトロールを実施しました。

春先に発生した地すべり崩壊現場では、特に熱心な情報交換が行われ、緊急時の適切な対応へつながるものと心強く感じました。

（参加機関：国土交通省松本砂防事務所、中信森林管理署、大町警察署、北アルプス広域北部消防署、北安曇地方事務所、大町建設事務所、白馬村、小谷村、姫川砂防事務所）



日向沢 白馬村 幸田地すべり崩壊の現場



南股沢川 白馬村 南股（松本砂防事務所発注の砂防堰堤改築工事現場）

姫川建設業協会 砂防施設維持管理ボランティア活動

7月28日（月）、姫川建設業協会主催によるボランティア作業が、白馬村の峰方沢（流木処理）と五竜スキー場下犬川沿い（草刈り）で行なわれ、総勢約 30 人が参加しました。

県の砂防施設維持管理ボランティア活動支援事業として、姫川建設業協会と姫川砂防事務所が平成 18 年 8 月に協定を締結して以来毎年実施しており、今年で 9 回目となりました。炎天下での作業となりましたが、手際よく進めていただき、3 時間余りで終了しました。

姫川建設業協会のほか 12 のボランティア団体と協定を締結しており、多くの皆さんに砂防施設等の維持管理を行っていただいています。紙面をお借りしボランティア活動に御協力いただいている皆様に感謝を申し上げます。



白馬村峰方沢での流木処理

平成 26 年度長野県治水砂防協会姫川支部 功労者表彰

7月15日（火）に開催された長野県治水砂防協会姫川支部総会において、功労者表彰がおこなわれました。本年度は、小谷村大久保地区の地すべり防止施設を多年に亘り維持管理されてこられた「吉佐久会」が受賞されました。

表彰式には、代表者の清水様が出席され、「側溝や集水柵の土砂上げなどの地道な活動をとおして、地域の安全に寄与したい。」とのお言葉をいただきました。

姫川流域では、住民による砂防施設の維持管理が日常的に行われ、地域の安全が図られていることを実感しました。



☆☆☆ トピックス ☆☆☆

1 緑のカーテンができました

6月27日に定植したゴーヤとアサガオが成長し、ゴーヤは20cm大の食べごろがいくつか生りました。今年は豊作のようです。アサガオも濃いピンクの花をつけ咲いています。屋根近くまで届くのは何時頃か楽しみです。



6月27日定植



8月4日の様子

2 事務所敷地内の草刈り作業をしました



梅雨明け前の長雨で事務所敷地内は雑草が繁茂していました。先週ようやく梅雨明けしましたので7月29日（火）に今年度第2回の草刈り作業を総務課職員3人が草刈り機を使って行いました。事務所敷地内は土の部分が多く、けっこうな面積です。2時間余りで作業は終わりました。風がありましたので、作業自体はそれほど暑さを感じませんでした。

3 国道148号の側溝清掃に思う

事務所前から大きな音が聞こえてきたので、外に出てみると業者さんが国道（148号）の側溝（自由勾配側溝）を清掃していました。グレーチングを外し、側溝清掃車のウォータージェットガンで溜まった土砂を高圧で洗い落とし、バキュームホースで吸っています。昭和時代から大量に造られたインフラ施設（50年以上経過している施設が多い）

がまさに大更新時代を迎えています。

砂防関係施設も同様に維持・更新や延命治療が必要な施設が年を追うごとに増えていくと想定されます。砂防堰堤、地すべり防止施設等は溪流や山地斜面に施設されることが多く、工用道路や施設周辺は草や樹木が生い茂り施設自体を確認することもままなりません。施設の健全度を把握する上で、進入路等の草刈り・目視点検が重要で、砂防維持ボランティア団体の皆様の御協力は不可欠と感じます。

写真（大町建職員の指導のもと、地元建設業共同企業体による維持管理作業）



交通整理



側溝清掃車



ウォータージェット・バキュームホース

4 マイマイガが凄い

皆さんご存知のように今年はマイマイガの毛虫が多く、それが成虫となって大量発生しました。事務所南の桜の木に沢山たかり、葉を食べてしまい、木陰が寂しくなっていました。職員がトングを使って水を入れたバケツに入れて処分しましたが、たかが知れています。佃煮にして食べられればいいのですが。でもマイマイガの毛虫は意外とかわいい顔をしています。

蝶になってまだ飛んでいます。事務所敷地近くの電柱にマイマイガのメスが沢山卵を産み付けました。はっきり言って気持ち悪いです。来年も大量発生間違いなしですね。



桜の木の葉が寂しいです



毛虫のアップ



電柱に卵を沢山産み付けました



しあわせ信州

信州の山 新世紀元年～7月第4日曜日は「信州 山の日」～

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/yama/index.html>